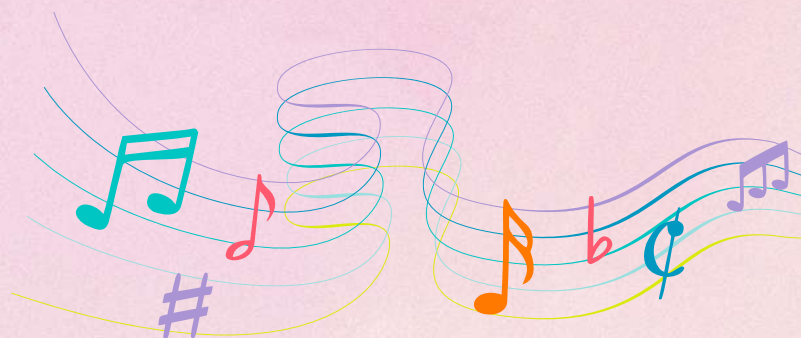




(公財) 千葉県文化振興財団設立40周年記念・千葉県文化会館リニューアルオープン記念

日本音楽財団協定プログラム

大谷康子ヴァイオリンリサイタル



千葉公演

令和7年8月16日(土)
14時00分開演
千葉県文化会館 大ホール

東総公演

令和7年8月17日(日)
14時00分開演
千葉県東総文化会館 大ホール

主催：日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION



公益財団法人
千葉県文化振興財団

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：【千葉公演】千葉県、千葉市、佐倉市／千葉市・市原市・習志野市・八千代市・四街道市・八街市・東金市・茂原市 各教育委員会
【東総公演】千葉県／銚子市・東金市・旭市・匝瑳市・香取市・山武市・多古町・東庄町・横芝光町 各教育委員会

プログラム・曲目解説

◆クライスラー：愛の喜び

フリッツ・クライスラー（1875～1962）は、ウィーン音楽の伝統を受け継ぐ20世紀前半を代表するヴァイオリニスト。ウィーンに生まれ、7歳でウィーン音楽院に入学、さらにパリ音楽院で学んだ。自らの演奏のために「愛の悲しみ」や「美しきロスマリン」など華やかな小品を書いたほか、多数の編曲でも知られる。「愛の喜び」（1910年刊）は、ウィнна・ワルツをこよなく愛したクライスラーの代表作。3拍子のワルツのリズムのせて、明るく快活な主題の間にうっとりとした艶やかな旋律が現れる。

◆ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集「四季」作品8から「夏」

イタリア・バロック最大の作曲家アントニオ・ヴィヴァルディ（1678～1741）の「四季」は、協奏曲集「和声と創意への試み」（1725年頃）に第1曲から第4曲として収められた楽曲である。いずれも3つの楽章から成り、ヴァイオリン独奏が生き生きと活躍する。各楽章にはそれぞれの季節の自然と人間の営みを描いたソネット（14行詩）が添えられ、内容に沿った情景やエピソードが音楽で表現される。

第1楽章（アレグロ・ノン・モルト・アレグロ）照りつける太陽で人間も羊もぐったり。第2楽章（アダージョ）稲妻が走り、雷鳴がとどろく。第3楽章（プレスト）雹が穀物を打ち倒す。

◆バッハ：G線上のアリア

ヴァイオリンの、のびやかな美しい旋律で始まる「G線上のアリア」は、ヨハン・セバスティアン・バッハ（1685～1750）の管弦楽組曲第3番（1731）第2曲「エール」をもとに、19世紀のヴァイオリニスト、アウグスト・ヴィルヘルミによって1871年にヴァイオリンとピアノ用に編曲された。「エール」はフランス語で、イタリア語の「アリア」のこと。編曲の際にヴァイオリンのG線（4番目の線）のみで演奏できるようにしたことから、「G線上のアリア」の名称で広く知られるようになった。

◆ブラームス：ハンガリー舞曲第5番

ヨハネス・ブラームス（1833～97）の「ハンガリー舞曲集」第1集と第2集（全10曲）は、1869年に出版されると、瞬く間に人気を集め、ブラームス最大の人気作となった。もともとはピアノ連弾用に書かれたが、ブラームス自身、あるいは他の作曲家によって、オーケストラや様々な楽器に編曲されている。本日は、ブラームスの盟友ヨアヒムによるヴァイオリンとピアノによる編曲版である。最も有名な第5番は、強弱やテンポの対比がドラマティックな効果を生み、ヴァイオリンの技巧が際立つ。

◆井上武士：海

井上武士（1894～1974）は、群馬県出身の日本の作曲家。東京音楽学校（現在の東京藝術大学）で学び、東京音楽大学教授を務めた。唱歌や童謡、また日本全国の学校の校歌を数多く手がけ、唱歌では、「チューリップ」や「海」がよく知られている。1941年に発表された「海」は、林柳波の歌詞につけられた大らかな音楽で、誰もが知る日本の原風景を歌った曲である。

◆岡野貞一：ふるさと

「兎追いし彼の山」（作詞：高野辰之）の歌詞で始まる、岡野貞一（1878～1941）の「ふるさと」は、文部省唱歌として長らく歌い継がれてきた。岡野は、鳥取県に生まれ、東京音楽学校（現在の東京藝術大学）で学び、母校の教授を務めた。岡野と高野の手による曲は、「ふるさと」（1914）のほかにも、「朧月夜」や「春の小川」などがある。いずれも情景が思い浮かぶ、温かい旋律が心にしみる。

◆葉加瀬太郎：情熱大陸

ヴァイオリニスト、葉加瀬太郎（1968～）の「情熱大陸」は、同名のテレビ番組（1998～）のオープニングテーマ曲として作曲された。ラテン音楽の華やかなリズムにのって、ヴァイオリンがクールに、自在に歌い上げる人気のナンバーである。

◆サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン作品20

スペインの偉大なヴァイオリニスト、パブロ・デ・サラサーテ（1844～1908）は、並外れた技巧と美しい音色をもち、自らの演奏のために技巧的なヴァイオリン曲を多数作曲した。独奏ヴァイオリンと管弦楽による「ツィゴイネルワイゼン」（1878）は、ドイツ語で「ジプシーの調べ」という意味で、ハンガリーのロマ楽団の影響を受けた、ヴァイオリニストの名人芸が際立つ華麗な作品である。

ドラマティックな序奏に続いて、ゆったりとしたテンポで哀愁を帯びた旋律が歌われる。技巧的なグリッサンドをはじめ、高度な演奏技巧が盛り込まれ、テンポが速くなる後半は、弾むように軽やかな技巧を披露しながら情熱的に高まる。

本日は、独奏ヴァイオリンとピアノによる版で演奏される。

解説：柴辻 純子

本日の使用楽器

Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands”

ストラディヴァリウス1702年製ヴァイオリン「ロード・ニューランズ」

イギリスのニューランズ卿（1825～1906）によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのW.E.ヒル&サンズが、1973年に英国バースの古楽器名器展で、同店を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン（1920～2001）は、自身が所有しているガルネリ・デル・ジェズと同じパワーを感じると語ったという。



大谷 康子 / ヴァイオリン



オフィシャル・ホームページ



YouTube

2025年にデビュー50周年。2025年1月には、サントリーホール大ホールにてデビュー50周年記念演奏会を開催。世界初演のヴァイオリン協奏曲「未来への讃歌」を含む意欲的なプログラムで、満員の聴衆を魅了した。5月にはデビュー50周年記念全国ツアー(ピアノ:イタマール・ゴラン/全14公演)を開催。これまでにリサイタルはもとより、N響、モスクワ・フィル、スロヴァキアフィルなど国内外の著名なオーケストラと多数共演。キーウ(キエフ)国立フィルとは2017年以降毎年招聘されている(情勢により中断)。著書に「ヴァイオリニスト 今日走る!」(KADOKAWA)がある。CDも多数リリース。BSテレ東(毎週土曜朝8時)「おんがく交差点」では司会・演奏を務める。

文化庁「芸術祭大賞」受賞。東京音楽大学教授。元東京芸術大学客員教授。元東京芸大ジュニア・アカデミー特別教授。(公財)練馬区文化振興協会理事長。(公社)日本演奏連盟常任理事。

使用楽器は日本音楽財団より貸与のストラディヴァリウス「ロード・ニューランズ」(1702年製)。

【公式YouTube】「大谷康子のやっこチャンネル」演奏動画続々公開中!

平塚 太一 / ピアノ



1996年東京生まれ。幼少よりピアノとクラリネットを学ぶ。小澤征爾、湯浅勇治の各氏の下で指揮を始める。同時にオペラ伴奏法を三ツ石潤司氏に師事。東京芸術大学指揮科を卒業後、2020年9月より文化庁新進芸術家海外留学制度長期奨学生として、ウィーン市立音楽大学指揮科修士課程に在籍。2023年9月からは同大学院オペラ伴奏科修士課程にも在籍している。

近年の活動として、九州交響楽団、奈良交響楽団、琉球交響楽団とウィーン交響楽団のメンバーによるフェスティバルオーケストラ、トーンキュンストラ管弦楽団、コダーイフィルハーモニア・デブレツェン等のプロオーケストラとの共演が挙げられる。24/25シーズンにはウィーン楽友協会大ホールにてトーンキュンストラ管弦楽団とシベリウスの交響曲第5番で共演した。

ピアニストとしては主に歌手やヴァイオリニストと演奏活動を行っており、ナウチーフ音楽祭、ザンクト・ペルテン音楽祭、YBP国際音楽セミナー、インターナショナルオランダミュージックセッション、アントワープインターナショナルヴァイオリン・セミナーなどで公式ピアニストを務めた。

公益財団法人日本音楽財団

日本音楽財団は、1974年に日本国内の音楽文化の振興と普及を目的として設立され、創立20年を迎えた1994年からは、西洋クラシック音楽を通じた国際貢献を目的として弦楽器名器の貸与事業を行っています。

保有する世界最高クラスの弦楽器21挺(ストラディヴァリウス・ヴァイオリン15挺、チェロ3挺、ヴィオラ1挺、ガールネリ・デル・ジェズ・ヴァイオリン2挺)を若手有望演奏家や世界で活躍する演奏家に国籍を問わず無償で貸与し、同時に、これら世界の文化遺産ともいわれる名器を次世代に継承するための保守・保全を行っています。また、楽器被貸与者による演奏会を日本国内外で開催し、名器の音色に触れる機会を提供しています。

日本音楽財団の事業は、日本財団の全面的な支援により実施されています。



本公演は **日本音楽財団** NIPPON MUSIC FOUNDATION と **公益財団法人 千葉県文化振興財団** の連携協定により開催しております。

千葉県の音楽文化の振興と普及を目指し、世界の文化遺産とも言われる弦楽器・ストラディヴァリウスを貸与された演奏家を起用して、千葉県中央地域と東部地域で世界最高峰の音色に触れるコンサートを開催します。